

## 2024.04.02. 祈り会 「悪霊の顕現」

JD 牧師

こんばんは。一緒に祈りましょう。今夜、共に過ごす時間を祝福して下さるよう、神にお願いしましょう。天のお父様、ありがとうございます。ありがとうございます。ありがとうございます。主よ、私たちはとても飢え渴いていて、あなたを切望しています。主よ、今夜、私たちが共に集まれるこの時間をありがとうございます。主よ、今夜、共に過ごした時間の終わりに、あなたに喜んでいただきたいのです。ですから主よ、私たちはあなたを祝福したいのです。あなたを称えたいのです。あなたにすべての栄光を捧げたいのです。あなたの聖なる御名に。主よ、あなたがされようとしていることを前もって感謝します。イエスの御名によって祈ります。アーメン、アーメン。

こんばんは。ようこそ。今夜、来てくださり嬉しいです。オンラインの方も、もちろんこれをライブ配信し、保存します。時間帯によっては午前3時ですね。起きておられるなら、寝てください。ー（笑）ー

まだ見られますけどね。本当に起きておられるなら、ビックリです。お伝えしたように、今夜はちょっと違ったことをするつもりです。そこに祈りのリストがあります。今のうちにとっておかれるのが良いでしょう。私たちに祈りを求めてきた人々からの祈りのリクエストです。文字通り、世界中の人々からです。リストにある祈りのリクエストの中には、とても強烈なものもあります。あなた自身の祈りの時間に、祈っていただくと、私たちはとてもありがたいです。祈りを求めている人たちのために祈ってください。でも今夜、私がする必要のあるのは、私がしたいのは、とは言いたくありません。本当にしたくないからです。でも、皆さんに話す必要があるのは、3月24日の「聖書預言・アップデート」のライブ配信での、『悪霊の顕現について』何が起こったのか、そしてなぜ私たちがあのようにしたのか、多くの質問がありました。そのことから始めたいと思います。で、それから、ほとんどのクリスチャンが、嘆かわしいほど世間知らずな悪霊の活動の現実について、直接的に語っている聖句を見ていきます。そして、この嘆かわしい世間知らずには両極端があります。一つ目は、扇情主義/センセーショナルリズムです。これは、あらゆるもの、あらゆる人の中に悪魔を見るということです。それは超センセーショナルリズムです。そして、反対の極端もあって、その逆で、「終わっている」という文脈で私が「終焉説」と呼ぶものです。それは正反対という意味で、何事においても悪魔的なものを否定すること。サタンはこの両極端を好みます。サタンはこの両極端に存在します。ですから、今夜私が成し遂げたいことは、深く分裂している問題に対して、聖書的にバランスの取れた回答を提供することです。で、本題に入る前に、マック牧師の「悪魔学」と題した2部構成の教を参照して欲しいと思います。彼は2021年1月に、この教ををしました。この2つの教へのリンクをウェブサイトのダウンロード可能なpdfファイルに貼っておきます。文書版もあります。マック牧師は聖書から、悪魔の領域を説明し、素晴らしい仕事をしています。かなり幅広い題材なので、私は今夜はそれをしません。私は言わば、大まかな筆でキャンパスを描いていきますけど、これからお話しすることは、決してすべてを網羅しているわけではなく、つまり、これを網羅するのは無理ですから。ですから全てを網羅/exhaustive しません、疲れる/exhausting かもしれません。しかし、その意味で網羅的ではないでしょう。では、「聖書預言・アップデート」の終わりに、実際に何が起こったのか、その説明から始めましょう。私は力説していったんです。その文書版から引用します。

### ー3月24日の文書版からの引用ー

「私たちが知っているべきこと、答えを持っているべきことについて、人々は疑問があるのです。7年の患難時代前にイエスが私たちを携挙するため来られるという祝福された希望について、皆に答えられるよう準備しておく必要があります！」私がこう述べたまさにその瞬間、引用：「私たちがいるのはその寸前、」正面に座っていた一人の女性が、彼女はすでに頭を後ろに反らせていて、それが突然、体を硬直させ、血の気が引くような悪魔的な声で叫びました。私たちのセキュリティチームは、彼女が非常に大きくゾットするような音量で叫び続ける中、その前に駆け寄りました。最初は、私を嘘つき呼ばわりする罵声だと思いました。よくあります。ー（笑）ー 失礼。しかし、聖霊が私を急き立て、促され、実はこれは悪霊の顕現だと気づきました。それで私はすぐに説教壇を離れ、彼女のもとに駆け寄りました。それから私は、イエスの御名によって、悪魔や悪霊を怒鳴りつけ、彼女の中から出てくるように命じました。彼女の声ではなく、悪霊の声が続く中、私はそれを繰り返し、悪霊の声はまだ叫んでいました。それで私は祈り続け、イエスの御名

によって悪霊に出てくるよう命じ、さらに大きな声を上げ続けねばなりません。1分ほど経った頃、永遠のようでしたけど、叫び声が止まりました。私は、他の兄弟姉妹と共に、ただ祈り続けました。それから悪霊の顕現から2分も経たないうちに、彼女が叫び声を止めた後に、彼女はうつむいたまま床に倒れこみました。この時点で、悪魔は、悪霊達は彼女の中から出ていったようでした。彼女は床に横たわったまま、普通の自分の声で泣き出し、そして「ごめんなさい」と言い、彼女はすすり泣き続けました。そして私は、彼女が自由になったことを告げ始め、イエスが教えてくださった通り（マタイ 12）、彼女が聖霊に満たされ、もう7つの悪霊が戻って来ないよう私の祈りの言葉で祈りました。そして私は、彼女を礼拝堂から出して介抱するよう指示をしました。後で聞いたら、彼女は自分の意志で平安に去ったそうです。彼女が叫び始めてから、私が落ち着きを取り戻して説教壇に戻るまで、この出来事は約4分間ほどでした。最後に、「福音」、「救いのABC」、「しかし、神は」の証で締めくくりました。彼女が去る前に、感じたのは、彼女のために祈り続けたかったから、彼女の名前を知りたかったのです。そして驚いたことに、彼女は普段の声で言いました。「あなたは私をご存知ですよ。ケリーと一緒に働いていたトレイシーです。」彼女が介抱され、礼拝堂から出て行こうとした時、彼女は私にそう言いました。それで分かったのは、約3年前、妻ケリーが主についてもっと教えたいと手を差し伸べたのは、まさにこのトレイシーで、それで私たちは彼女のために祈り、彼女と主を分かち合い、私は彼女と話すのにかなりの時間を費やしたことがありました。しかし、彼女は不満を抱き、怒りも覚えたようでした。ちょっとそれを覚えておいてください。彼女はメールに返信しなかった私に腹を立てていたのです。1年以上前のこと、昨年2023年のことです。私は1日に1,000通以上のメールを受けるので、メールを返すことができないのです。それで先週の火曜日に、そのメールに返信し、彼女の様子を聞いたのですが、今日になってもまだ返事がありません。このことについて、主に尋ねる時間を持ち、これは悪霊の憑依による悪霊の顕現という典型的事例だという結論に達しました。そして悲しいことに、悪魔や悪霊が本当に追い出されましたが、聖霊が彼女に臨んでいるようには感じられなく、なので私たちはまだ彼女のために祈っていて、皆さんにも彼女のために祈ってほしいのです。なぜ最終的に動画から編集されたのかという疑問に対して。ええ、私たちは、私はそれについて尋ねられた、と言いたいところですが、実際はそうではありません。純粋にそれについて尋ねる人もいましたが、どちらかという、何かを隠そうとしていると非難しているような内容でした。私たちはあらゆることで非難され、まあ、気にするつもりもないし、読む気もありませんけど。こう指摘したいと思います。なぜ編集したのか？ まず、見せ物にしたくなかったから。特にバランスの取れた解説がないと、このような動画に説明がなければ、最終的にサタンの最終目的を促進するのに役立つだけだからです。それが彼の最終目標です。すなわち、注意をそらす。分裂、混乱、中断。それは聖霊ではありません。悪霊です。聖霊は決してご自分で邪魔をされません。ですから、実際にここにおいて、この件を目の当たりにし、トラウマを負った人たちにも、伝えたいと思います。まず第一に、私はそのことについて主に尋ねました。かなりゾッとしました。つまり、劇的で、もちろん悪魔的でしたが、敵は悪を謀らいます。敵は悪のためにこれを謀らいます。しかし、神は、それを許されるのは、多くの人の救いのため、益になさいます。（創世記 50：20参照）

この出来事の結果、多くの人々がキリストに人生を捧げ直したり、キリストに人生を捧げたりしています。説明します。これは、、神がこうなさるのが大好きです。42年以上前、私がキリストのもとに来たとき、私は5歳でした。計算しないでね。でも、私がキリストのもとに来たのは、悪魔が実在することを認識したからです。私はサタンが実在することを知りました。サタンが実在するなら、イエスも実在するはずだと結論づけました。それで私はキリストの下へ来ました。というのも、私は非常に、、言いたくはないんだけど、私はある意味、悪魔的な音楽によって悪魔に取り憑かれていました。音楽はサタンが私に取り憑いた媒体でした。それが私の魂への悪魔の侵入を許した入り口でした。それから、私がキリストに人生を捧げた時、私はただ、とてもシンプルで子供のような祈りを捧げ、「地獄には行きたくない」と神に告げました。というのも、AC/DCが私に「地獄へのハイウェイにいる」と言うから。レッド・ツェッペリンの『天国への階段』は天国への階段ではありません。地獄への階段です。私は基本的にこう祈りました。「地獄には行きたくない。」私はとても酔っていました。当時、ハイだったことは、あまり誇りに思っていません。そう祈りながら眠りにつきました。文字通り、、こんな言い方を許してほしいのですが、私は文字通り、地獄が恐ろしくて、恐ろしさで、天国にいきたかったのです。それは良いことでした。そして翌朝、目が覚めて、自分がキリストにあって新しく創造されたことを知りました。古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました。（Ⅱコリント 5：17）

それが分かりました。聖霊が私のうちにおられ、邪悪な霊はいなくなりました。その家はきれいになって、聖霊が私の内に住まわれました。ですから、これは非常に現実です。そのために必要なことならそれでいいのです。私は、神が良いことに用いられるようにそれを許されたと信じます。悪霊に打ち勝つ聖霊の力を私たちが直接目撃するためです。なぜなら、私たちのうちにおられる方は、この世にいる者よりも偉大だからです。(Iヨハネ 4:4)

私たちは圧倒的な勝利者です。(ローマ 8:37)

間違っただけではありません。悪魔は、私たちが悪魔を恐れるより以上に、ずっと私たちが恐れています。私たちには悪魔に勝る力があります。悪魔は敗北した敵です。私たちは決して悪魔を恐れてはなりません。悪魔は私たちにおののいています。悪魔は自分が敗北した敵だと分かっているから、私たちをととても恐れています。私たちにそれを知ってもらいたくないのです。そう、この1週間は大変でした。要点は分かりますね？自分が敗北した敵であることを私たちに知られたくないのですよ。これでいいです。今のうちに止めておきます。ですから神は、それを許され、今、そこから善をなさろうとしておられます。そしてもうひとつ、動画に入れたくなかった理由は、ええ、もちろん、私たちが彼女を知っているからです。妻と私は彼女のために祈ってきたし、彼女を困らせたくなかったからです。私たちがこの出来事から「しかし、神は」の証が生まれることを願い期待しています。疑問なく、神は、神だけがお出来になる通り、それがお出来になります。だから、私たちがそれを祈っています。でも、だからこそ、私たちがこれにはもっと多くのことがあるのを見極め、それで、今夜はいつもの祈り会の代わりに、このことについて話すため時間を捧げます。つまり、これは取り組むべき重要なレベルまで上がっています。ここ最近、私は悪霊の活動を見極め、ひいては主に尋ねているのは、かつてないほど増加しているように思えること。確かにこれは終わりの時の預言的なしるしです。しかしながら、欺瞞という点でもゾッとすると、それが分裂と混乱を引き起こします。サタンの手口そのままの、「分裂と征服」の典型的事例です。しかし、私と私の教会は、こんな悪のゲームはしません。私たちが善い戦いをしています。先に進む前に指摘しておきたいのは、そう、「マタイの福音書24章」、

私たちが「聖書預言・アップデート」でこの話をよくしますが、イエスが弟子達に、「あなたの来臨のしるしと時代の終わりは何ですか？」と尋ねられ、イエスは何よりもまず、第一のしるしを仰います。「惑わし」しかし、その仰り方がとても興味深く、皆さん、一緒によく考えて欲しいのです。イエスは、

「人に惑わされないように気をつけなさい。」(マタイ 24:4)

その意味するところは、私たちには、自分が惑わされる可能性、傾向、性質がある。私たちが彼らに惑わされる。サタンは欺く者、偉大なる惑わす者、混乱の作者です。これもまたサタンの戦術書通りです。サタンは混乱させたい。混乱させようとしている。「待って。これがクリスチャンなの？クリスチャンは悪魔に取り憑かれないと思っていた。」それについては今から話します。「ちょっと待って。こんなものは見たことがない。」ええ、気にしないで。話が逸れないようにするので。(ですよね？主よ。)OK。他にもしきやいけないことがあるので、話しますと、というのは、ソーシャルメディア上のバイラルな投稿、さらにキリスト教メディアからの取材依頼に、私は少し驚いています。つまり、ちょっと驚きました。正直に言いますが、いつも断っています。混乱と分裂を招くだけだとわかっているから。質問に答えるんじゃなく、質問に答えるよりも、更なる質問を生み出すことになります。そしてもうひとつの理由は、私を知っている人は知っていると思いますが、私は、スポットライトを浴びたくありません。私は、スポットライトを浴びないよう、目立たないように、細心の注意を払っています。2019年に、ポッドキャストやインタビュー、カンファレンスでのスピーチ、ユーチューブでの放送など、あらゆる依頼を断ろうと決めました。それは私ではありません。それをしている人たちが、間違っていると言っているわけではありません。私にとっては、違うのです。それは私がどういう者かです。私は決して本は書かないし、それをするのは間違いではありません。あなたが本を書くなら、神が本を書くようにと召されているなら、本を書いたらいい。でも私は決して書きません。私は本を書くつもりはまったくありません。私には素晴らしい本があります。実際、超名著です。その本には、66巻あって、それに何を付け加えます？ですから、私はいつもお断りして、それはクリスチャンの肉欲に訴えるもので、というのも、私たちが皆、生まれながら、世俗な扇情主義/センセーショナルリズムを求めるから。それがすべてだからです。しかし、公平に見て時代を理解し、見極める人々もいて、今回のことで、同じように悲しんでいます。私たちのユーチューブチャンネルの投稿を紹介したいと思います。私にとって、完璧に要約されています。@グレイシー57からです。

「この礼拝における悪の顕現が広まり、それを見逃した信者たちがあちこちでそれを見ようとしていることを、私は深く悲しんでいます。JD 牧師の賢明さに感謝します。事の本質は、非常に専門的に処理され、当事者への愛情に満ちていました。敵が注目の的となり、扇情的な見せ物となることを許さなかったことに敬意を表します。出来事の後、あなたは説教壇に戻り、落ち着いて教えを続けました。イエスがあなたの後ろにおられた証です。(ええ、イエスはおられます。) 聖霊が霊的戦いに勝たれました。あなたとあなたのご家族、信徒の皆さんに多くの愛を。」

彼女がこれを投稿した直後、返信が@ロレーヌ・パスカル 771 さんから投稿されました。あなたの名前の発音を正しくしているのをお願いします。(私はこのコメントが大好きです。)  
「私や同じように感じている多くの人たちが言いたかったことをすべて言ってくれてありがとう。神の祝福を、そして、神の謙虚なしもべで JD・ファラグ牧師とカルバリー・カネオへのすべての人々と関係した女性に神の祝福を。」このようなコメントはとても励みになるし、多くの人に愛されます。牧師として。特に、今夜取り組む悪霊の領域という難しいテーマに関して、彼らは私に希望を与えてくれます。数は少ないですが、霊的に見識のあるクリスチャンはいて、真に神の御霊によって新生したクリスチャンは、絶対に悪魔に取り憑かれることはできないと知っています。不可能です。あなたが神の御霊によって新しく生まれ、聖霊があなたに住まわれているなら、悪魔に取り憑かれることはできません。そうなら、聖書的ではありませんし、不可能です。しかし問題なのは、偽教義の“解放のミニストーリー”と呼ばれるもので、クリスチャンから悪魔を追い出すというもの。大喰らいの霊め！ お！ (JD 腹囲を見る) おっお～ つまり、そう、悪魔がいて、すべてが悪霊だと。この霊、あの霊、その霊。彼らは悪魔を追い出している。なんて混乱するんでしょう。新生したクリスチャンが言います。「ちょっと待って。私の中に悪魔がいるの？ 追い出してください！！」彼らが実際に何をしているか知っていますか？ ベレア人になって、私が言っていることが本当かどうか、自分で聖句を調べてください。自分たちが対処するとされることそのものを作り出しているのですよ。新生したクリスチャンから存在しない悪魔を追い出すのではなく、そのクリスチャンを悪魔の影響下に置くことになるのです。私の話の向かう先は、新生したクリスチャンは悪魔に抑圧される可能性はあります。悪魔に憑りつかれたように見えるレベル程度に。言い換えれば、あなたがそれに心を開いて、あなたはまだ新生しているなら、聖霊はあなたから去ったり、見捨てたりしません。聖霊はあなたに住まい、その贖いの日のためにあなたを封印しておられます。あなたが救われているなら、新生しているなら、新生していないになり得ません。一度救われても、常に救われないと、という偽教理はやめてください。間違った教理で、神は禁じておられます。あなたの聖書の大部分を差し替えることになるのだから。そんなことはしないでください。なぜなら、聖書の至るところに、それははっきりと書かれているからです。「ローマ人への手紙 8 章」がその良い例です。私たちへの神の愛から、どんなものも私たちが切り離し、引き離すことはできません。(ローマ 8 : 39 参照)

高いところにあるものも、深いところにあるものも、どんな権力も、支配も、闇の力も、そのほかのどんな被造物も、それはほとんどすべてをカバーしています。神の愛からあなたを引き離すことはできない。あなたが新生しているなら、救われています。新生していないに 2 度となれません。お子さんやお孫さんがいらっしゃる方、彼らが生まれていない、になれません。時には、、、、そうだったら、、、一 (笑) 一 気にしないで。陽気さを入れたかっただけです。ですから、今からもっと掘り下げますが、今夜はお付き合いいただき、感謝します。私は聖霊に、言わば余地を与え、ですから、これに制限はしません。私が早く終えるなら、レイトゥ牧師にあがってきてもらって、締めくくってもらいますが、そうでなければ、私は全時間を使うかもしれません。そうなら、本当にこの問題に対処することになります。これは非常に深刻な問題だから。なので、欺瞞的で悪魔的な偽の教えに手を染め、悪魔の領域へと自らを開放しているクリスチャンについて、少し話をしたいと思います。クリスチャンは知らず知らずのうちに、悪魔と踊ったり、悪魔の憑依と戯れたりするよう誘われていると言ったらどうですか。私の言うことを信じますか？ 聖典には、「使役霊 (ファミリア・スピリット)」と呼ばれるものがあります。繰り返しますが、これは非常に広範で、私は深入りするつもりはありませんが、「使役霊 (ファミリア・スピリット)」とは何か？ これらの霊は、クリスチャンが親しくなり、招き入れる霊です。彼らはクリスチャンです。彼らは基本的に、これらの悪魔の招待に応じ、知らず知らずのうちに悪魔に不当に影響され、悪魔的な影響を受けています。多くの場合、気づかないで。しかし、これらの「使役霊 (ファミリア・スピリット)」がすることは、力を約束することです。多くのパワーがあります。すべてのパワーではありません。繰り返しますが、聖霊の力は悪魔の力よりも無限に強力だからです。ですから、あなたがイエスの御名によって命令するとき、彼らにはできません。一般的に



ならないでください。悪魔も神を信じているからです。しかし、「イエス」の名を口にするとき、それは悪霊にとって非常に苛立たしいのです。今から見ていきますけど、あなたはいつもイエスの御名の力と権威を使う。悪霊に命令する。私は彼女に命令したわけではありませんよ。私は悪霊に命令していました。事実、最初に私は聞きました。「悪霊よ、お前の名前は？」それは福音書から得ました。あまりうまくいきませんでした。あの悪霊の叫び声がとても大きかったから。だからご存知、私は声をあげました。叫べますけど、あの悪霊の声以上には叫べませんでした。だから私はそれを放棄し、どうしたかという、聞いてください。

「お前の名前を知る必要はない。だがお前がイエスの名を知るのだ！」

それから、私は時に苦勞して学ばなければならないのでしょう。悪霊を追い出すことができなかった弟子たちのことを考えます。父親がその息子を弟子達のところへ連れていき、最終的に父親は、「あなたがたは、もういい。」で、イエスのところへ息子を連れて行く。イエスはこうです。「OK。悪霊よ、出ていけ。」で悪霊は出ていき、弟子達は、「なぜ私たちはできなかったのでしょうか。」基本的にイエスは仰います。

「この手のものは、祈りと、断食が必要です。」(マタイ 17:18-21 参照)

でも思うに、弟子達は言ったでしょう。「以前はいつもうまくいっていたのに、なぜ今回はダメなのか？」とにかく、それが私の話で拘りです。

では、この概念に話を戻しましょう。クリスチャンは知らず知らずのうちに、こうした悪霊や使役霊(ファミリア・スピリット)を招いてしまう。では、そうなると、起こることは、悪霊の顕現で、悪霊の憑依ではありませんが、悪霊が現れ、それが顕在化する。これらの悪霊は、必ずしも最初は認識できない形で現れます。なぜなら、理解しなければならないのは、サタンは光の御使いに変装します。(IIコリント 11:14)

ですから、あなたが本当に新生したクリスチャンで、このようなことに興じているのであれば、様々な形で悪霊が現れることが予想されます。あなたが新生したクリスチャンでなく、そのようなもので遊んでいるなら、悪魔に取り憑かれることが予想されます。すぐに、自分が悪魔に取り憑かれていることを知らずとも、悪魔/悪霊に取り憑かれています。今回の「聖書預言・アップデート」で起こったことで私が興味深いと思ったのは、クリスチャンの世間知らずについて以下のことでコメントしたことで、クリスチャンが、映画や音楽、特にネットフリックスや他の配信オンデマンド・プラットフォームのエンターテイメントの中で、私が悪魔的な予測プログラミングと呼ぶものに触れるときの世間知らずについて。私はその文書版を読み返しました。同じ3月24日の「聖書預言・アップデート」からの抜粋で、これはあの悪霊の顕現前の箇所、文書版から引用します。その理由がわかると思います。

ー3月24日の文書版からの引用ー

「わお。彼らは私たちが知らないことを知っているのか？ この記事からの引用を聞いてください。(私がこの記事から参照しています)「サム・エスメイル監督の黙示録的スリラー『リーブ・ザ・ワールド・ビハインド』(原題: Leave the World Behind)に続く作品である。」これについて話しましたね。以前の「聖書預言・アップデート」で、オバマと「世界を置き去りにする(映画)」の関係。私はこれを観ていないし、観るつもりもありませんが、参考にするためにいくつかの資料を見ました。でも私は絶対に見ません。予測プログラミングだから。映像による予測プログラミングの力を過小評価してはなりません。『いや、ホラー映画を見れますよ。』とは思わず、非常に注意してください。かなりパワフルだから。『いやいや、私はクリスチャンだから。』いや、あなた、、失礼ですが、あなたは世間知らずのクリスチャンです。もっと見極める必要があります。これはすべて、7年の患難時代に向けての予測プログラミングです。彼らは知っているからです。『世界を置き去る』について、ほとんどのクリスチャンが知るはずのことを。私たちに對する非難です。」(以上、3月24日「聖書預言・アップデート」文書版より)

また、以前のメールで取り上げたこの映画についても言及しています。実はこの作品はバラク・オバマがプロデュースし、ネットフリックスで公開されました。それほど前ではありません。非常に悪魔的映画で、脳をプログラムする上で、非常に予測的です。なぜなら、サタンは人間の脳の動きを知っているから。さらに興味深いのはその翌日、25日の月曜日、私は、あの悪霊が現れる前の同じ「聖書預言・アップデート」の文

書版を引用しました。そして月曜日、この潜在的な悪魔の映画について、興味深いコメントやメールが寄せられるようになりました。そのうちのコメントのひとつが、@ヴィジョナリー・ベットの投稿したものです。

—引用—

「映画の中で兵器化されたオーディオトラックは、家の中の芸術作品に波形の形で表示された。これについてはビデオもある。」

次は、@ジェフリー・デイヴィス 7615 にその直後、投稿されました。引用します。

—引用—

「牧師が話していた映画は3つのサウンドトラックで作られていた。台詞用と映画音楽用ではない。3つ目は、潜在的超低周波の隠されたトラックだ。聴く者に、彼らの隠されたプログラムの影響を受けやすくする。プロの映画編集者が発見し、配布用にコピーを作ったんだ。」そして、次が@ノウワーズの返信です。

—引用—

「あの映画は捨てた方がいい、というレポートを見た。その代わりに、オバマの悪魔的意図に対抗するよう祈るよ。」

実際に映画を観た人に話を聞きました。もちろん、私は彼らに尋ねました。「なぜ？」そしてこれが彼らの答えです。「見なければよかった。」私は座りながら考えました。私の御霊の中で、、、これはクリスチャンです。「とても不安で落ち着かなかったんです。」そう、この周波数にある潜在的悪魔のメッセージのせいです。サタンはその周波数を知っています。ちなみに、そうしているうちに、皆さん、優しくもせっかく時間を割いてくれましたもんね。その時間を使って、、、これは音楽です。悪魔的な音楽だとお伝えします。再度ですけど、こうして私はキリストのもとに来たのです。私は悪魔的な音楽にどっぷり浸かっている、自分の脳が潜在的メッセージを受けていることに気づいていなかったのです。潜在的メッセージとは？ 彼らは研究しました。実際、以前もそうしていました。おそらく今でもやっているでしょう。でも、今はもっとひどいはずですよ。悪はますます悪化していますから。しかし、これは映画の初期の話で、彼らは点滅させます。ポップコーンとソーダを。聞いたことがあります？ あなたは見なくても、潜在意識はそれを拾い上げます。そして売店の売り上げは桁外れになりました。効果があった。なぜなら、そう、その方法は、、、潜在意識の働きはこうです。サタンはこれを知っています。私があなたのところに来て、「やあ、私はサタン。あなたの人生を破壊しに来たんだ。」と言ったら、あなたはそこからできるだけ遠くへ、できるだけ速く逃げてください。しかし、もし彼が裏口から入ってきて、特定の周波数とテンポで特定のコードを使い、非常に旋律のあるサウンドで催眠術をかけたとしたらどうでしょう？ あなたはこんな風に、(ノリが出て) 例を挙げましょう。ジョージ・ハリスンだと思います。これは訂正させてもらいました。ビートルズの一人。あの曲、覚えてますか？ 皆さんに歌わなければならないのが申し訳ない。あなたをプログラミングするぞ。聞いてください。— (笑) —

ハレルヤ♪ あなたはこんな風に乗る。ハレルヤ♪ハレルヤ♪ そしてとても旋律的で催眠的。それから突如として、ハレクリシュナ♪ 「待って。何て？」 どうやったんですか？ おお、君を捕らえた！！ ハレルヤで君を捕らえ、私は君にちょっと催眠術をかけ、プログラミングし、私は初っ端や、正面や中心から、すぐには入れないのを知つつ、裏の潜在意識から入って、ハレクリシュナ！ 「さがれ、サタン！」です。では、ハレルヤ、ハレルヤから始めよう。ハレクリシュナ。ちなみに、この曲は史上最も成功し、最も売れた曲のひとつです。これについては話したことがあります。また述べる機会かもしれません。話している内容から、適切だと思います。レッド・ツェッペリン。現在までの歴代1位、「天国への階段」史上最も悪魔的な曲です。「ローリング・ストーン誌」は、いつも混同してしまうのですが、ロバート・プラント、レッド・ツェッペリンのジミー・ペイジ、たしかジミー・ペイジがローリング・ストーン誌で語っていたと思うけれど、彼らが、イギリスのアレイスター・クロウリーの豪邸を買ったことを。アレイスター・クロウリーとは？ 彼は、このバンドに演奏を教えた軍曹、“サージェント・ペッパー”です。ロンリー・ハーツ・クラブ・バンドのアルバムジャケットに登場しています。“ペッパー軍曹のロンリー・ハーツ・クラブ・バン

ド”。(ビートルズのアルバム)なんと妙なことでしょう。バンドに演奏を教えたペッパー軍曹とは何者？

自称悪魔崇拝者のアレスター・クロウリーです。彼は何でも逆にやる方法についての本を書きました。すべてを逆に読むのです。詩篇、詩篇 23 篇。潜在意識に働きかけるため、逆から読むのです。その歌、覚えてませんか？皆さんの頭にその歌を刻まないことを願います。この後は、本当に素晴らしい賛美・礼拝をしなくてはなりません。ここまでするつもりはなかったのですが、ここは本当に手短に。ほら、ご存じイーグルスの『ホテル・カリフォルニア』、「別に害のない曲だよ。」そうはいきません。チェックインできます。チェックアウトはできるけど、絶対に出られません。アルバムのジャケットを見て、、もし家にこれがあるなら、まずそれは燃やしましょう。でもその前にちょっと見てください。アルバムジャケットにあるホテルの窓のひとつに男が写っているからです。それはアレスター・クロウリーです。基本的に彼は、文字通り、自分たちの魂をロックンロールに売り渡した悪魔的なバンドたちの裏にあるインスピレーションでした。なので、名声と富と引き換えに、彼らは悪魔に魂を売ります。彼はバンドマン達にほしだけ名声と富を与える。しかし、彼らは悪魔の手先になるのです。悪魔が最初から望んでいたのは、崇拜されることでしたから。だから、それは彼のものです。それが悪魔の礼拝です。これらのロックコンサートは、ルシファーが天でその礼拝の指導者であったように、礼拝の指導者たちです。音楽の力、そして無意識のうちに、潜在的にそれが思考に入り込むのがそのやり方です。これらすべては 25 日の月曜日のことでした。つまり、日曜日に起こったことをまだ整理しようとしているところです。この月曜日は、26 日火曜日に貨物船がフランス・スコット・キー橋に衝突する前日です。

さて、ここからが興味深いところです。オバマ大統領の『leave the World Behind』で描かれた貨物船は、計画されたサイバー攻撃によって電力を失い、海岸に激突した。そしてそれは偶然にも、動力を失ってフランス・スコット・キー橋に衝突したとされる貨物船と奇妙なほどよく似ている。この予測プログラミングである悪魔的な映画の 1 シーンに、同じ橋、あるいは少なくとも非常によく似た橋と思われるものが映っていると指摘する人さえいる。おお、ところで、それは爆発物によって破壊されました。9・11 同様に。7 号館のように。(ワールドトレードセンター)誰もそのことを話したがりません。私はビデオを見せ、反論の余地のない証拠にもかかわらず。飛行機はありませんでした。飛行機があたのタワーを無傷で通過することはあり得ません。飛行機が鳥にぶつかれば、それは機首を破壊します。ビデオも削除され、見つかりません。でも、保存してくれた人たち、見つけてくれた人たちに感謝します。それには(合成映像用の)緑色のスクリーンが使われ、機首が反対側に飛び出しています。そして、私には、ニュースキャスターたちが、「ああ、一機は反対側に突き抜けました。」と言ったコメントがあります。おい、頼むよ。そして突然、パ、パ、パ、パ、パ、パと爆発する様子を撮影した映像が流れました。それは何か月も前にツインタワーに仕掛けられたものです。それは制御された解体でした。7 号館について話しましょう。こんなことするつもりはなかったんだけど、もう遅いね。7 号館。ああ、3 ブロック先の火事の熱で溶けてしまった。鋼鉄が入っています。重力による自由落下で落ちていきました。「待って、飛行機が衝突したの？」いや、飛行機はありません。ただ、崩れ落ちました。ああ、BBC のニュース番組がありました。キャスターは台本から外れていて、タイミングが 20 分早すぎたのです。で、取材は彼らの台本どおり、「ただいま 7 号館も崩壊したとの情報が入りました。」と。そして、生中継の背景にも写っていて、まだ崩壊していないのです。「しまった」撤回、削除されました。もう二度と見れません。そしてこの橋。聞いてください。私を気遣いと呼んでも構いません。いいですね？しかし、これを真実としないのは、あまりにも信じられません。頼みますよ、これを記録した映像があります。反論の余地はありません。あの橋。ポ！ポ！ポ！ポ！爆弾、爆弾、爆弾、爆弾、ドーン！9・11 のように、全部予測プログラミング。で、私はあなたの心を読めるので、あなたはこれを単なる陰謀論として片付けるのでは？まあ、聞いてください。あなたはきっとご満足されるでしょう。ファクトチェッカーたちは、あなたがその鵜呑みにしやすい頭をふかふかの枕に乗せられるよう、わざわざ用意してくれています。それでも足りないなら、その騙されやすい頭を埋めるための砂がたくさんあります。唯一の問題は、オバマの映画でビーチに激突した巨大な貨物船の衝撃を受けていない砂を見つけなければならないことです。そう、いやあ、牧師さん、あなたはずいぶんひねくれていますね。まあ、それは聖なる皮肉です。勘違いされ、誤解されるのは分かっています。でも、真実は、それが真実です。そして、この現実は見過ごされています。この悪魔的な要素と私が呼ぶものは、キリスト教圏、とりわけクリスチャンと公言する人々の間に蔓延し、顕著です。しかし、実際は偽クリスチャンで、彼らは見せかけだけ、クリスチャンではありません。そして、これほどひどく嘆かわしいものになっているのは、クリスチャンを公言し、

また新生クリスチャンであることさえ公言している人々の大半が、ひどく欺かれ、偽りの父からの嘘を信じています。先週の木曜日、3月28日の朝、ですから私達がいるのは、あの悪霊の顕現から4日経ったところ です。午前2時50分にメールが届きました。ええ、その時間に起きています。それは悪霊の顕現に対する 応答で、そのまま読みたいと思います。それがすべてを物語っていると思うからです。引用します。

—引用—

「私は神を愛し、神は私の内におられます。私は神を賛美します。あなたのように裁きを下す人は、クリス チャンの評判を悪くします。私たちは皆、自分の中に神の粒子を持っているのです。これが私たちの潜在意 識です。私は占術の手段を使い、見たり聞いたりするのに役立っています。これは、あなたの主観を私に押 し付けるためのものではありません。私は毎日、神と話します。神は私に賜物をくださいました。神に聞い てみてください。それほど気がかりなら。」

わーお！！ 何が悲しいかって？ これはよくあることなのです。私が今読んだものですが、それは、クリ スチャンではないのに、自分達はクリスチャンだと”公言している”人たちから受け取るコメントやメールの 大部分を代表しています。では、最後にもうひとつ。ただ、もっとひどくなるでしょう。それでは良いタベ を。—（笑）— お許しくださるなら、私は一転して、なぜあのようなことが起こり、そしてこれからも起 こり続け、さらに悪くなるだろうことを聖書に基づいて説明したいと思います。で、以下は単に、つまり、 聖句は数多く、膨大な量で、ただ、私が本当に時間をかけて聖句を探した中から、選んだいくつかを紹介し たく、ここで、悪魔の領域について、実に興味深いことを指摘したいのです。では、「使徒の働き」16章16 節から始めましょう。

—使徒 16：16—

さて、祈り場に行く途中のことであった。... そこで止めます。私たちが祈ると、悪魔は神経質になります。 それが決定打になることを知っているからです。だから、文字通り、地獄が展開することはほぼ予測できま す。なぜなら、悪魔はあなたが祈れば終わりだと知っていて、彼はあなたを祈りから逸らすためには何でも し、何が何でもそれをやめない。祈りは戦いに勝利する場所であり、ミニストリーは戦利品を集めると言わ れるのはもっともです。それが祈りの力なのです。ですから、彼らが祈りに行った時に何が起こったかを見 てみましょう。

—使徒の働き 16：16—

さて、祈り場に行く途中のことであった。私たちは占いの霊につかれた若い女奴隷に出会った。...

私にメールをくれたのと同人物かもしれません。わかりませんが。

...この女は占いをして、主人たちに多くの利益を得させていた。

—使徒の働き 16：17—

彼女はパウロや私たちの後について来て、...（これは聖霊によってルカが書いています。）（聞いてくださ い。）...「この人たちは、いと高き神のしもべたちで、救いの道をあなたがたに宣べ伝えています」と叫び 続けた。

この悪霊の顕現が起こった時、悪魔/悪霊の声はこう言いました。「すべての膝はかがめられよ。」この記述 の、悪霊に取り憑かれた女は、基本的に真実を言いました。

「この人たちは、いと高き神のしもべたちで、救いの道をあなたがたに宣べ伝えています」（使徒の働き 16：17参照）

しかし、彼女は占いに染まっていました。18節、

—使徒の働き 16：18—

何日もこんなことをするので、



(私はこれが大好きです。言わせてください。)

「困り果てた”パウロは、振り向いてその霊に、(女ではありません。)**「イエス・キリストの名によっておまえに命じる。この女から出て行け」と言った。**

すると、ただちに霊は出て行った。おお、日曜の朝、1時間もかからなくて本当によかったです。なぜ私がこれを指摘したのか？ 祈りがある時はいつも、悪霊が祈りを妨げようとしているのがわかるからです。それが、祈ろうとする時、こうなる理由です。電話が鳴ったり、子供が喧嘩を始めたり、住所を間違えて誰かが玄関に来たり、、、ウィ〜ウィ〜！(サイレンの音)全てが起こります。悪魔的です。サタンはあなたを祈らせたくないからです。あなたが祈る時、サタンは行かねばならないのを知っているからです。バイバイ。サタンはバイバイしたくありません。それら点と点を結んで、この点も結びましょう。「エペソ人への手紙」6章です。これはよく知られていて、特に最近によく引用されます。神の全ての武具を身につけなさい。武装だ！「エペソ人への手紙」6章は誰もが知っています。神のすべての武具は、

すべてを束ねる真理の帯、胸には正義の胸当て、足には平和の福音の備えをはきなさい。(エペソ 6：14-15参照)

思いを守る救いのかぶと、(エペソ 6：17参照)

火矢を消すためにすべての上に信仰の盾、(エペソ 6：16参照)

唯一の攻撃である御霊の剣、すなわち神のことば。(エペソ 6：17参照)

何も見逃していないと思いますけど？ で、皆が神の武具について語り、そして、そこで止まります。そこで止まらないでください。読み続けてください。18節で、パウロはこう言うからです。

—エペソ 6：18—

あらゆる祈り・・・

おお、待つて。ですから、祈り？ それは武具のどの部分ですか？ ありません。それが武具を着る方法です。

—エペソ 6：18—

あらゆる祈りと願いによって、どんなときにも御霊によって祈りなさい。そのために、目を覚ましていて、すべての聖徒のために、忍耐の限りを尽くして祈りなさい。

—エペソ 6：19—

また、私のためにも・・・

(よく聞いてください。)

・・・私が口を開くときに語るべきことばが与えられて、福音の奥義を大胆に知らせることができるように、祈ってください。

—エペソ 6：20—

私はこの福音のために、鎖につながれながらも使節の務めを果たしています。宣べ伝える際、語るべきことを大胆に語れるように、祈ってください。

パウロよ、ここであなたは大胆になれるよう祈りを求めているのですか？ あなたが？ 兄弟よ、あなたは十分大胆なのに、あなたは祈りを求めている。あなたは今、霊的な領域における霊的武具の壮大な例えを、比喩的に教えてくれました。私たちは血肉の人間と格闘するのではなく、高い所にいる闇の主権や力、悪と格闘するから。実際、4つの別々のランクの悪魔的存在と。それが私たちが格闘している相手です。格闘は重要な言葉です。私たちは喧嘩する。戦う。違います。「私たちは格闘する。」です。全力/極限です。高校時代にレスリングをしました。

42 秒だったと思います。私は、タッピングしました。冗談でしょう？ 疲労困憊で、回復するのに何週間もかかりました。もう少しで入院するところでした。つまり、体のすべてを使います。レスリングをしたことがある人、レスリングについて知っている人なら知っているはずですが、パウロがレスリングを使うのには理由があります。これは全力/極限です！ 霊的領域において。で、つまり、こうです。「おお、あなたはなんて。大変素晴らしい。武具を身にまとっているんですね。おお、あの胸当て。それがあなたの色。あなたは秋色（初老）に違いない。」で、あなたは武具を手に入れました。どうするんですか？ ただそこに立って、きれいなだけ。違います。祈るんです。祈りのあるところには悪霊がいるからです。そのつながりに注目してください。

「祈ってください。私が大胆に福音を宣べ伝えるように。」私は大変興味深いことに気づきました。恐れずに大胆に、イエスキリストの福音を説教するや否や、悪霊はこう言って、「おしまいだ。もう十分だ。」そして、現れました。誤解を招かないことを願いますが、私は何年にもわたってこの約束をし、みなさんとの約束を守ってきました。私が言うのに飽き飽きしないことを願います。しかし、神が私に息を与えられ、この説教壇で、この素晴らしい教会を牧会する特権を与えてくださる限り、この説教壇から皆さんが聞くことが決してないのは、、、それは副牧師たちも同様、この説教壇から決して聞くことがない説教は、敵が動揺しないもの。以前にもお話ししたように、私たちが非常に心配すべきは、敵がこう言う時です。

「よくやった。善良で忠実なしもべよ。あなたに礼状とギフトカードを送る。あなたの妻には花束を送る。良い仕事を続けてくれ。」こんにち、説教壇から説かれる非常に多くの説教は、闇の力を一切邪魔しません。奴らは影響を受けません。イエス・キリストの福音が宣べ伝えられるときの大胆さ。それが悪魔/悪霊の領域が現れる時です。ですから、敵が私を放っておくと心配になります。霊的な戦いがなければ、「神よ、私は何を間違えているのですか？」つまり、敵があなたを放っておく時、私は闇の力にとって手強い脅威ではないということ。ですから、敵は私を放っておきます。「アイツについては心配していない。アイツは全然問題じゃない。実際、アイツはこっち側だと思う。が、あの男、ヤツは問題だ。ヤツは我々に多くの問題を引き起こしている。で、我々はそれを強化する必要がある。ヤツを、ヤツらを黙らせるためにできることは何でもする必要がある。脅威だからだ。」

「使徒の働き」8章に行きましょう。

一使徒の働き 8：4ー

散らされた人たちは、みことばの福音を伝えながら巡り歩いた。

おっお〜、やりましたね。

一使徒の働き 8：5ー

ピリポはサマリアの町に下って行き、人々にキリストを宣べ伝えた。

一使徒の働き 8：6ー

群衆はピリポの話聞き、彼が行っていたしるしを見て、彼が語ることに、そろって関心を抱くようになった。

う〜ん、問題が起きました。キリストが宣べ伝えられるだけでなく、人々がそのメッセージに耳を傾け、救われ、自由になり、癒され、大勢の人々が一心に耳を傾けます。

一使徒の働き 8：7ー

汚れた霊につかれた多くの人たちから、その霊が大声で叫びながら出て行き、中風の人や足の不自由な人が数多く癒やされたからである。

一使徒の働き 8：8ー

その町には、大きな喜びがあった。

牧師さん、何が言いたいんですか？ 祈りのあるところには、必ず悪霊がいます。祈りに加えて、イエス・キリストの福音を宣べ伝えなければなりません。それでやり遂げられます。あなたは大胆さを得、福音を宣べ伝え、祈り、癒しに次ぐ癒しで、悪霊たちはおかしくなります。神の御言葉を大胆に宣べ伝え、イエス・キリストの福音を宣べ伝え、祈りがあるところに、間違いなく悪霊はいます。事実、それが分かる判断基準です。福音が宣べ伝えられていないところに悪霊がわざわざ姿を現すことはありません。なぜそんなことをします？ 悪霊たちはどこに集まろうとするのか？ 彼らはどこをターゲットにするのか？ 彼らは、自分たちへの最大の脅威がある場所を狙います。これは一般的な軍事戦略です。パウロが記しているのが、その言い方が大好きでして、「悪魔の策略に無知であってははいけません。」(Ⅱコリント 2:11)

私は欽定訳が好きです。唸りながら説教します。悪魔の策略、戦略、攻略。敵は、軍事戦略家のように地図で戦略的に研究しています。昔の写真で、地図に向かってみんなで前かがみになっているのがあったでしょ？ 彼らは軍事的に戦略を練り、攻撃するのに最適な場所を探しています。ところで、私どうです？ 上手すぎるでしょ？ そう、全部、声を低めてしなきゃね。私の声ですからね。軍事戦略家がいる、身を乗り出して、戦略を練る。サタンは、あなたのクリスチャン人生の地図でそれをします。サタンはあなたを研究し、戦略を練って、またとても辛抱強い。攻撃するのに最適な時間と場所、エリアを待っています。そのまま船を揺らさない限りは、問題ありません。

「3月24日(日)、オアフ島のウィンドワード・サイドのこのエリアにさらに焦点を当てる予定だ。だって、ここにいる人たちは、ポットラックを食べながら、イエスが履いていたサンダルについて話しているのだから。では、戦艦を移動させよう。」やり過ぎです？ では、「第二テモテへの手紙4章」を読みましよう。3節から、皆さんこれをよくご存知ですね。ここで指摘したいことがあります。

#### —Ⅱテモテ 4:3—

というのは、人々が健全な教えに耐えられなくなり、耳に心地よい話を聞こうと、自分の好み(欲)にしたがって自分たちのために教師を寄せ集め、

#### —Ⅱテモテ 4:4—

真理から耳を背け、“作り話に”それて行くような時代になるからです。

その単語を覚えておいてください。

#### —Ⅱテモテ 4:5—

けれども、あなたはどんな場合にも慎んで、苦難に耐え、伝道者の働きをなし、自分の務めを十分に果たしなさい。

この作り話・寓話という単語は、新約聖書の原語のギリシャ語 *mythos* で、英語の神話/*myth* の語源です。神話というと、いろいろなものが思い浮かびます。フィクション、神話や、、でも、伝説的な物語や記述、通常は超自然的な存在についての考えを伴います。超常現象。あるいはイベント。新約聖書では常に、好ましくない意味合いや現れという文脈で使われています。作り話・寓話は、真理、健全な教理から背を向けます。それに我慢できないから。彼らは、耳がうずうずするような話をしてくれる連中に大勢で群がります。なぜなら、彼らは官能的で卑猥なものに対する病的な好奇心を持っているから。ですから、彼らはこうした作り話に群がります。これらは悪魔の教義です。今からすぐ話す通りに。注目すべきはこれは、ペテロが「第二ペテロの手紙1章」の16節から始まる箇所です。靈感を受けて使っている単語と同じです。

#### —Ⅱペテロ 1:16—

私たちはあなたがたに、私たちの主イエス・キリストの力と来臨を知らせましたが、それは、巧みな作り話(神話)によったものではありません。私たちは、キリストの威光の目撃者として伝えたのです。

悪魔が耐えられないことがあるとすれば、患難前携挙でのイエス・キリストの来臨について言及することです。私がおそのことを口にするや否や、彼女は、こんな風に体を急に起こして、わめき出したでしょ。私は、「何????」私が何か言った？ — (笑) —

さあ、ユーモアを入れさせてよ。深刻なのは分かっていますが、なんてこと。どうりで、牧師たちは、聖書預言について説教しないのです。留意ください。ペテロは語ります。

「私たちの主イエス・キリストの力と来臨。」「私たちは、キリストの威光の目撃者として伝えたのです。」

—II ペテロ 1 : 17—

この方が父なる神から誉れと栄光を受けられたとき、厳かな栄光の中から、このような御声がありました。「これはわたしの愛する子。わたしはこれを喜ぶ。」

—II ペテロ 1 : 18—

私たちは聖なる山で主とともにいたので、天からかかったこの御声を自分で聞きました。

(変貌の山です。)

次の19節をよく聞いてください。

—II ペテロ 1 : 19—

また私たちは、さらに確かな預言のみことばを持っています。・・・

(翻訳によっては、より確かな聖書預言)

・・・夜が明けて、明けの明星があなたがたの心に昇るまでは、暗い所を照らすともしびとして、それに目を留めているとよいのです。

—II ペテロ 1 : 20—

ただし、聖書のどんな預言も勝手に解釈するものではないことを、まず心得ておきなさい。

—II ペテロ 1 : 21—

預言は、決して人間の意志によってもたらされたものではなく、聖霊に動かされた人たちが神から受けて語ったものです。

なぜ私はこれを分かち合うのか？ なぜなら、これが完全な嵐だからです。こう言い換えることもできるかもしれませんが。あなたは悪霊の顕現に憧れ、好奇心を持っていますか？ そのレシピを教えましょう。代々受け継がれてきたレシピです。これが悪霊の顕現のレシピに必要な材料です。

聖書預言、イエス・キリストの福音、大胆さ、患難前携挙の健全な教理。

それが必要な全てです。私は約束し、保証します。返金保証もつけます。100%保証します。それをすると、完璧な嵐が起こる。必要なのはそれだけです。それで、悪霊は発狂します。そうすれば、悪霊の顕現を手に入れられます。福音を宣べ伝える。イエス・キリストの福音を。預言を教え、さらに確かなものとし、聖書預言の言葉の聖句を、大胆に教えると、おお、奴らは、、ええ、退屈な人たちには、悪霊たちはこうです。「この人たちは、、うん、、(いびき) 彼らは問題じゃない。でも、あいつは自分の言っていることを本当に信じているから問題だ。」だから大胆さが必要です。大胆さ。パウロは自分のために、大胆さを祈って欲しいと言いました。パウロさん、すでに大胆さがありますよ。他にあなたのために祈れることはありますか？いいえ、大胆さを祈ってください。なぜ彼は霊的な領域での祈りを求めたのか？ 彼は、高いところにいる悪魔的な存在の文脈で話しています。いったいなぜ、使徒パウロのような大胆な人物が、大胆さのための祈りを求めるのか？ 大胆さは聖霊の力によってのみもたらされるからです。大胆さは、作り出せるものではなく、自分ではできないもので、簡単にはできないし、自然にできるものでもありません。それは超自然的にもたらされます。OK。「第一テモテへの手紙4章」もう締めくくりますから。しかし、私はここで、目を開いてくれるものを指摘したいと思います。私にとってはそうでした。主が私の目を開いてくださいました。

「第一テモテへの手紙4章1節2節」、皆さんご存知ですね。



## ーIテモテ 4 : 1ー

しかし、御霊が明らかに言われるように、後の時代（終わりの時）になると、ある人たちは惑わす霊と悪霊の教えとに心を奪われ、信仰から離れるようになります。

## ーIテモテ 4 : 2ー

それは、良心が麻痺した、偽りを語る者たちの偽善によるものです。

「エペソ人への手紙4章」に戻って、26節と27節を読みたいと思います。この点に細心の注意を払ってほしいのです。御霊によってパウロが語ります。

## ーエペソ 4 : 26ー

怒っても、罪を犯してはなりません。憤ったままで日が暮れるようであってははいけません。

なぜか？理由が27節、

## ーエペソ 4 : 27ー

悪魔に機会を与えないようにしなさい。

留意ください。怒りと悪魔がドアに足を踏み入れることの関連性に。なぜなら敵は、ひとたび足を踏み入れれば、足場を固めてしまうから。足場を固めるとは何か？それが足場を固める時だから。どうやって、このようなことを引き起こさせたのか？（キーワード ↑）私たちの怒りで。そう、悪霊は必ずしも、私たちがあの日曜日に目撃したように劇的に現れるわけではありません。敵は非常に狡猾です。繰り返しますが、気づきません。皆さんが、悪魔と怒りを結びつけたことや関連づけたことがあるかどうかは知りませんが、カインを考えてください。「創世記4章」「カインよ、戸口で罪が待ち伏せている。」カインは怒って殺人を犯した。そう、悪魔は、怒りや憤りや恨みによって私たちの人生のドアに侵入し、巧妙に足を踏み入れます。私たちはこれらを悪霊に与えています。クリスチャンです。新生した御霊が住まうクリスチャンが悪魔に足場を固めさせている。それが入り口です。では、「第二テモテの手紙」に戻り、それで終わりにしましょう。これはちょっとした衝撃です。お付き合いください。2章23節から、

## ーIIテモテ 2 : 23ー

愚かで無知な議論は、

（この”愚かな”の言い方が好きです。）

それが争いのもとであることを知っているのですから、避けなさい。

いいですか？あなたが怒っていて、議論を始める。それが白熱すると、

## ーIIテモテ 2 : 24ー

主のしもべが・・・

（これはクリスチャンです。）

彼らは主を愛していて、彼らは主に仕えています。彼らは主を知っています。

・・・争ってはいけません。むしろ、すべての人に優しくし、よく教え、よく忍耐し、（教えやすく）

恨まない。なぜなら、その恨みが募り、成長し、恨みが根を下ろし、そしてあなたが怒れば、化膿して、煮えたぎって、怒ると、あなたは悪魔に白紙の小切手を書いてサインさせていて、悪魔は好きなだけ金額を記入できる。25節、

## ーIIテモテ 2 : 25ー

反対する人たちを柔和に教え導きなさい。神は、彼らに悔い改めの心を与えて、真理を悟らせてくださるかもしれません。

## 一II テモテ 2 : 26 一

悪魔に捕らえられて思いのままにされている人々でも、目を覚まして、その罠を逃れるかもしれません。

待って！ クリスチャンが悪魔に捕らえられたり、悪魔の罠にかかったり、悪魔に利用され、意のままにさせられているというの？ そうです！ 彼らが正気に戻るよう祈ってください。彼らは気づいていないのです。彼らは、言い争い、怒り、けんか、恨みで、敵の侵入を許してしまっています。あなたは悪魔に向かって言っている。「どうぞ、入って。」怒りを通じて、悪霊はこのように姿を現す。例を挙げます。挙げる例には注意した方がいい。違うのを使います。OK。自分のを使います。再度、チームのために犠牲になります。私の結婚。もちろん私は、完璧な結婚生活を送っています。私は牧師ですからね。皆さんに言いましたね。今にも稲妻が落ちてきそうです。そう、喧嘩して、日が沈んでも怒ったままだと、敵が仕事を始めます。夫や妻に腹を立ててベッドに入って朝起きたら、敵は一晩中いた。あなたは許可を与えたのです。あなたは彼を中に入れた。敵はドアに足を踏み入れ、足場を掴んだ。今、敵は足場を固めている。そして大混乱を引き起こそうとしている。その争いを生み出しているのは悪霊です。そういう形で現れます。ですから、この非常に重要なポイントを教訓にしてほしいのです。どうか見逃さないでください。悪霊の顕現は、必ずしもあからさまで、認識しやすく、劇的で、表に出るものではありません。時に、事実むしろ、そうでないことのほうが多いくらいです。彼らは非常に狡猾です。そしてこのような形で現れます。

では、教会を例にとって説明しましょう。あなたは教会で分裂を起こしている。神の御言葉の権威に基づいて、私は断言します。それは、その信者の体に悪霊が現れ、すべてのいさかきを引き起こしています。なぜなら、これは主のしもべだから。テモテは教会の牧師です。こう考えてください。あなたはこう考えます。パウロは御霊に導かれ、テモテに手紙を書きます。ノンクリスチャンについてこんなことを書いても、何の意味もありません。なぜなら、聖霊によって新生していない、神の御霊によって生まれ変わっていない人が、そのような行動を取るようになると私たちは予想しますから。つまり、世には予想します。終わりの時の19の兆候のリスト。人々は自分自身を愛し、裏切り、殺人の罪を犯すようになる。読むのが辛いリストですが、今の世の中を的確に言い表して、悪化の一途をたどっています。これこそが終わりの日を象徴するものです。ですから、あれは教会に書かれたものです。なぜなら、ノンクリスチャンになぜそんなことを書きますか？ それが彼らのすることだから。あなたはキリストのもとに来る前、そうでした。だから、これはクリスチャンに向けてです。理にかなっていません。本当に驚くべきことです。考えてみれば、「第二テモテへの手紙2章」を読むと、パウロがテモテに書いているのは、テモテが牧会する教会に、悪魔に捕らわれた人々がいて、正気に戻る必要がある。悪魔が彼らを意のままにしているから。悪魔の意のままとは？

「分裂と征服」分裂と征服です。分裂、争い、混乱、闘争、数え上げればきりがありません。私は、それが非常に巧妙で認識しがたい方法での悪霊の顕現だと断言します。そして、怒りに関してはどうか細心の注意を払ってほしいのです。悪霊の領域にいるサタンを見ると、それはサタン自身ではなく、遍在するわけではないからです。しかし、悪霊はクリスチャンの生活に過度に影響を及ぼし、怒りを煽ることができます。悪霊が怒りを煽ることができれば、、、因みに、クリスチャンの結婚が離婚に至るのはこのためです。クリスチャン同士の結婚の離婚率は、ノンクリスチャン同士の結婚の離婚率と同じか、それ以上です。なぜクリスチャンの結婚をサタンが嫌うかという、それが象徴することゆえです。それは、キリストの花嫁としての私たちの花婿イエスとの結婚の縮図です。縮図です。サタンはクリスチャンの結婚を標的にします。サタンがこっそり入り込む方法は、議論、対立、争い、恨み、苦味、怒りなどを通してで、サタンはうまく入り込み、試合終了となります。教会も同じこと。あるいは、あなたは放置するのか。この言葉で締めくくりたいと思います。私はこの教会に大変感謝しています。牧師にとって稀です。これは大げさな表現ではなく、文字通りで、私のように会衆の前に立ち、心から純粋に感謝できる牧師はほとんどいません。これはこの神の教会にとって無関係なことだからです。私たちは教会分裂がありません。そのことに神を褒め称え、感謝します。神はこの特別な教会を猛烈に守っておられます。この教会を本当に守っておられます。私が思うことは、神はあなたの牧師を見降ろされ、こう仰います。

「うお！この牧師には多くの助けが必要だ。だから、彼の周りには特別な守りが必要だ。気の毒な男だ、、、彼が望む最も素晴らしいスタッフを送ろう。彼にはあらゆる助けが必要だから。」本当に可哀

想、、、それはあわれみですね。しかし、神は長年にわたって、この尊い教会を本当に守っておられます。つまり、時に私たちの知らないところで、何が起きているのかわかりませんでした。神はただ取り除かれました。この神の教会に多大な損害を与えかねない一つひとつを。最初は、あなたはこんなふうです。

「わお、本土に引っ越すんですね。行かないで、、、、」そして、いろいろな事が明らかになり始め、あなたはこうなります。

「まじ?! なんだって? 主よ、感謝します。」主よ、感謝します。あなたは私たちを守ってくださいました。大惨事になるところでした。彼らは人間だからです。彼らはクリスチャンであり、兄弟です。私たちは天国で彼に会うでしょう。彼らは携挙で引き上げられます。彼らが好むと好まざるとに関わらず。彼らは携挙で引き上げられます。彼らは患難前携挙を信じません。気にしません。彼らは上がります。患難前にね。しかし、その人たちは悪魔に足場を築かせ人生に入り込ませます。悪魔は、彼らの怒りや未解決の確執、憤りを利用し、それが、彼らの人生への入り口となります。それがその実で、その結果として現れることです。私はあなたにこの言葉を残したいのです。はい、悪霊の顕現があってさまざまな形で現れます。あの日曜日のように、非常に劇的な展開になることもあります。認識すらできないものもあります。しかし、悪霊の領域を軽視してはなりません。それに値する以上の評価はやめてください。しかし、その反対の極端で、取るに足らないこととして片付けないでください。両方とも非常に危険です。これがサタンが大成功を収めていることです。サタンが基本的に世に信じ込ませているには、赤いタイツを履き、熊手を持ったアニメのキャラクターで、肩にちょこんとのって、おお、サタンって超かわいいとか、もう一方の極端な例では、サタンは人々を欺き、自分は神と対等で対極の力を持つと信じさせます。ですから、人々はサタンに値する以上の評価を与えずにいて、一方では、値するに十分な評価を与えません。両極端なので、両方とも非常に危険です。サタンは実在し、被造物です。皆さんに言いたくありませんが、サタンはあなたの根性が大嫌いです。しかし、イエスはあなたの根性を愛しておられます。これで締めくくります。良い締めくくり方だと思います。カポノ、上がってきてください。お役に立てたなら幸いです。一拍手喝采ー

お伝えしましたね。疲れるって。(笑) お父様、ありがとうございます。私たちを守ってくださりありがとうございます。主よ、ありがとうございます。私たちには聖霊の力があり、サタンは敗北した敵です。主よ、祈ります。使徒パウロが祈りを求めたように、私たちもまた、大胆で、恐れを知らず、大胆不敵でありますように。私たちが生きているこの邪悪な時代において。主よ、祈ります。私たちが悪霊の領域に気づきますように、しかし、悪霊の領域を恐れませんように。主よ、理解と個々の人生のために祈ります。悪魔が私たちクリスチャンの人生に入り込む足がかりを与えませんように。そして、悪魔が入り込もうとする巧みな方法に私たちが気づきますように。主よ、私は祈ります。この尊い信徒たちの体を守り続けてくださいますように。主よ、この素晴らしい教会の牧師であることを感謝します。主よ、あなたの御手の中で私たちを安全に保ってくださいよう祈ります。主よ、最後にトレイシーのために祈りたいのです。主よ、どうか悪霊を追い出し、彼女にバプテスマを受け、聖霊で満たしてください。主よ、私たちがその方法を祈ることができ、そうする力を持つことを感謝します。イエスの御名によって、アーメン。

---

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7